

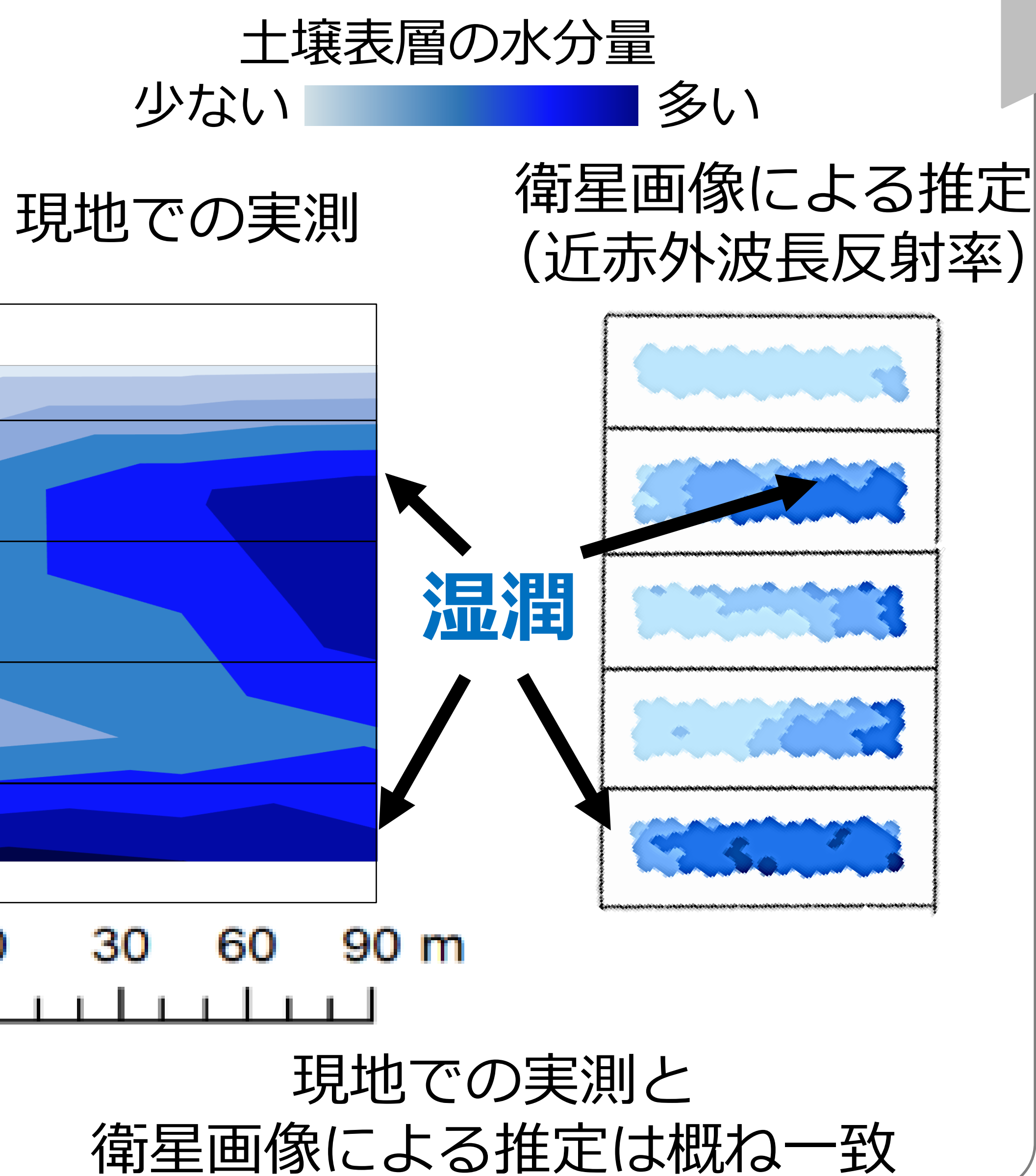
水はけの悪い水田を衛星画像で見つける

概要 Abstract

融雪後の近赤外波長反射率（衛星画像）と標高データを用いて、排水不良の可能性が高い水田を見つけることができます。

成果 Results

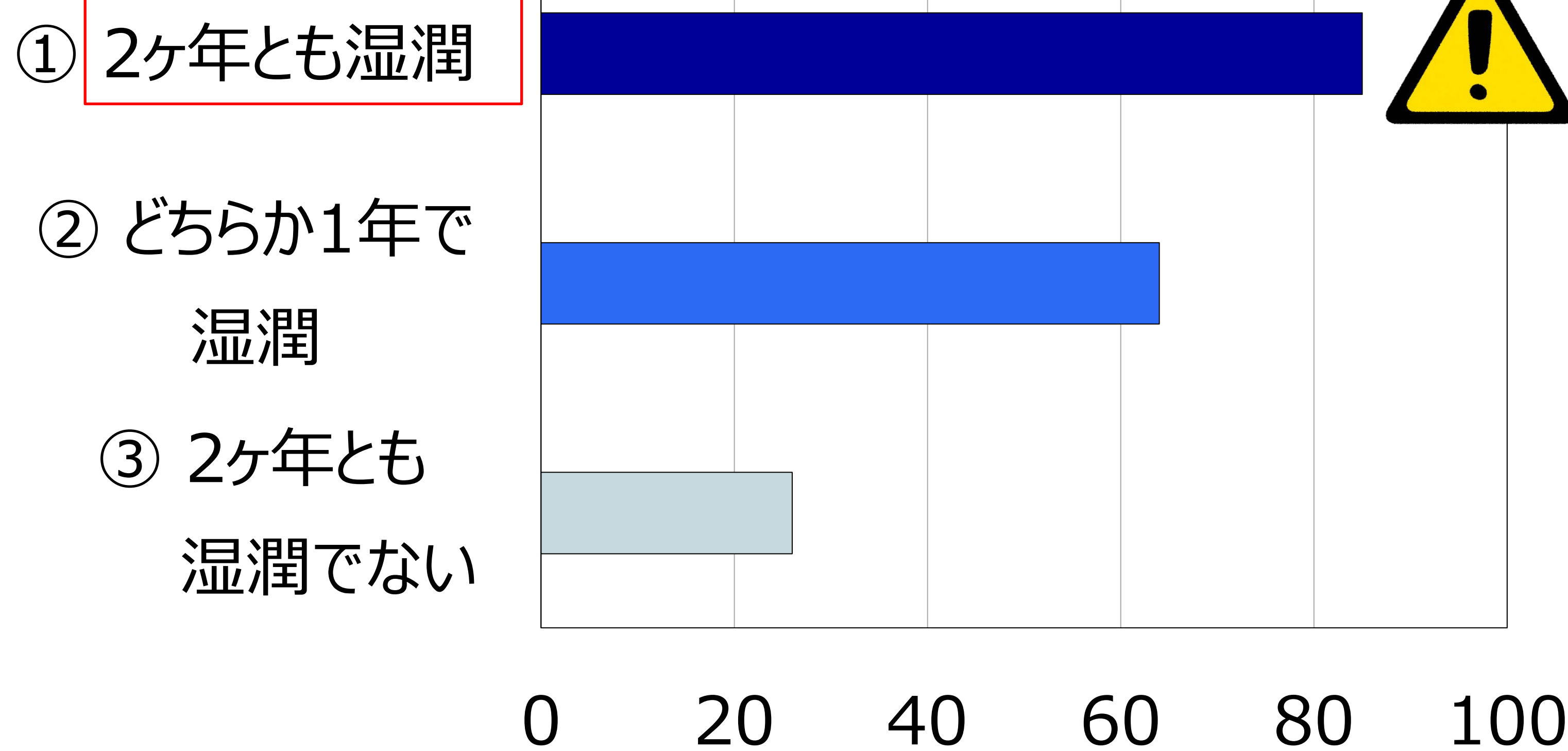
① 融雪後の衛星画像から 土壌表面の水分状態を推定



過去2ヶ年分の衛星画像を確認することで**排水不良**※の可能性が高い水田を見つけることができます。

※地表下30cm以内が還元状態である場合を排水不良と定義。

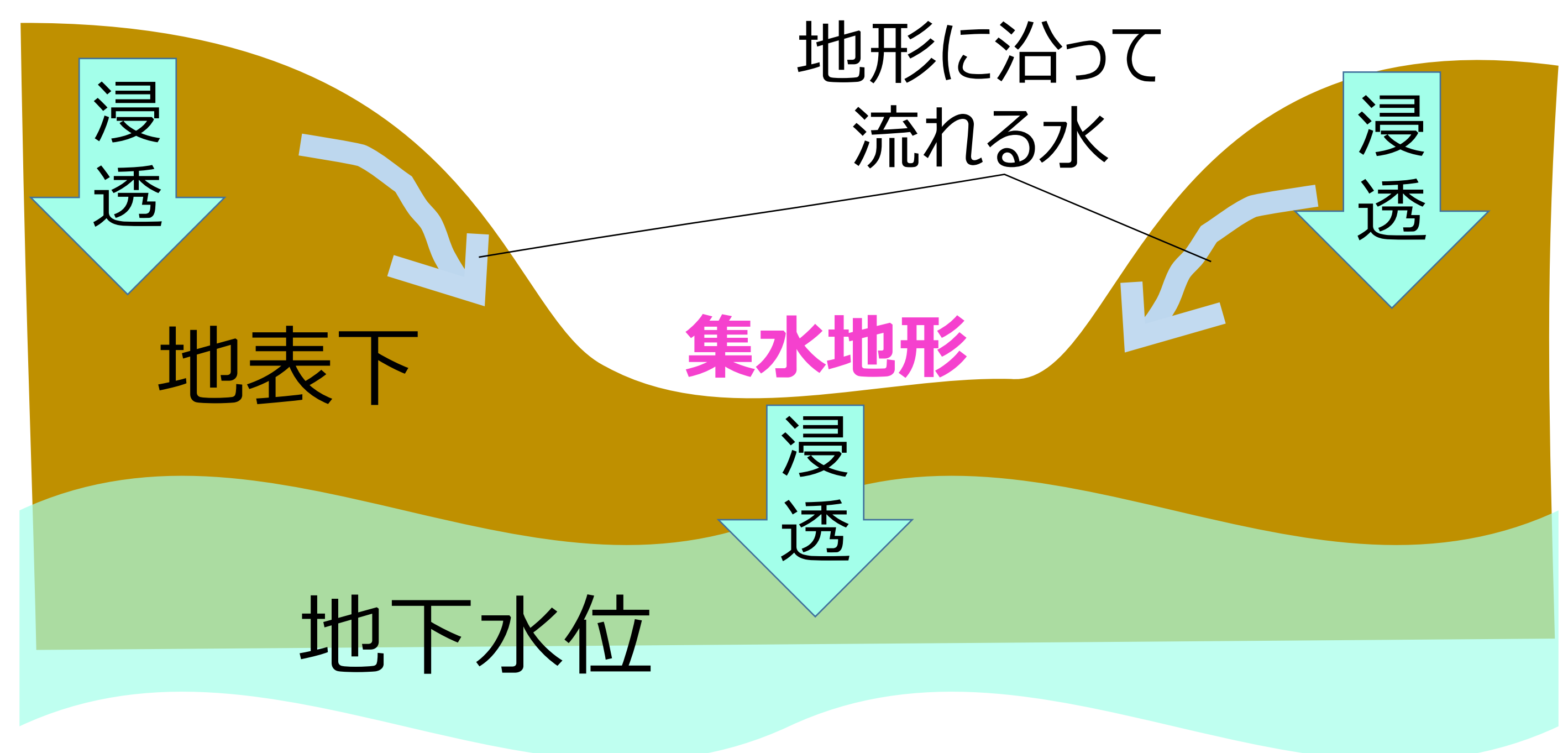
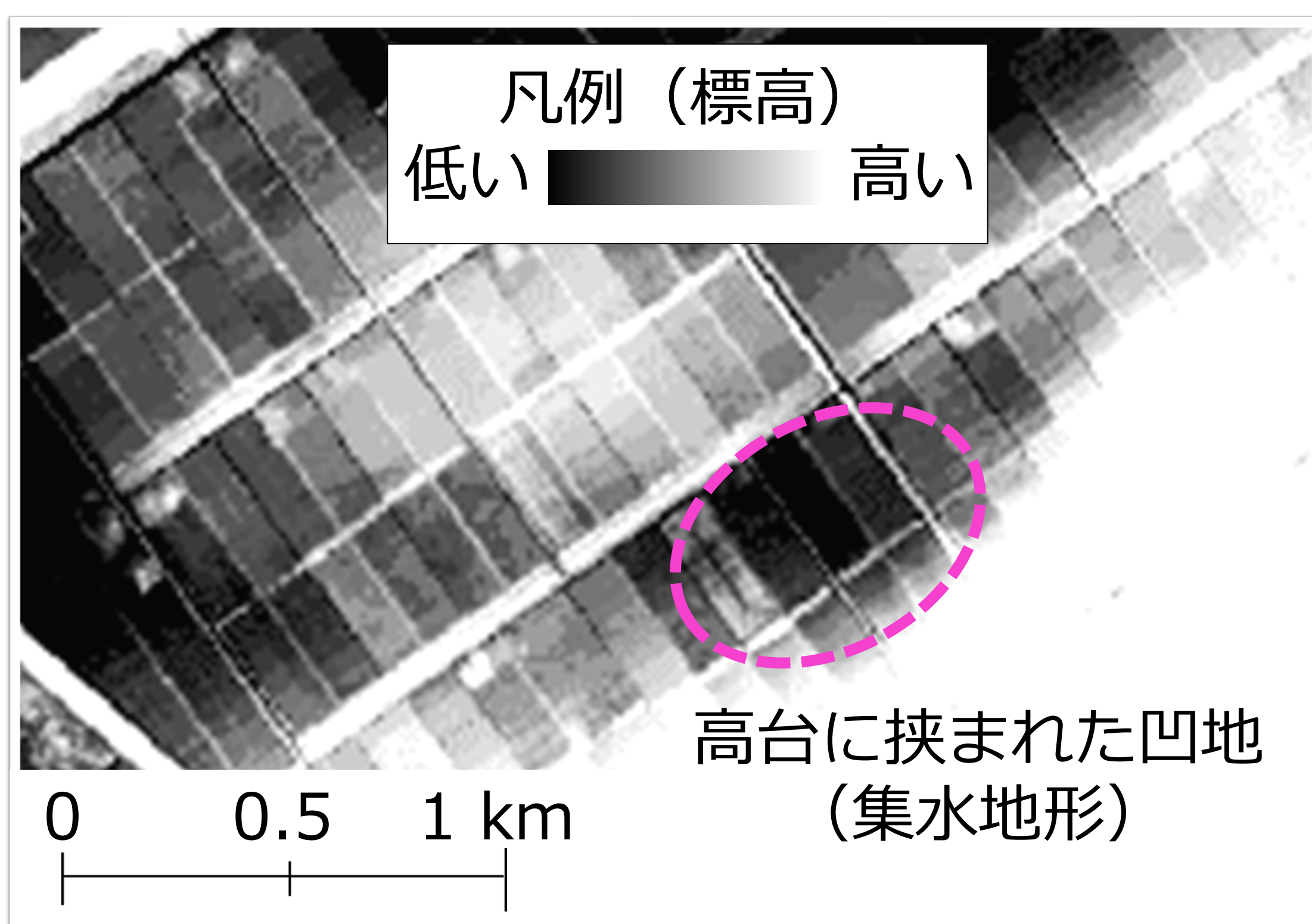
実際に排水不良だった圃場の割合(%)



2ヶ年とも湿潤で排水不良の可能性が高い。

② 標高から水が集まる場所（集水地形）を発見

標高マップから水が集まる場所（集水地形）を見つけることができます。



集水地形では、地形に沿って水が集まることで地下水位が常に高く、排水不良の可能性が高い。

普及 Dissemination

- ・本技術は衛星画像の入手や解析に専門的な技術を必要とします。
- ・基盤整備の計画立案を担う行政担当部署が、整備事業などで排水対策実施が望ましい水田を省力的に示す際に活用できます。
- ・抽出された水田は、現地の土壌調査で排水性を確認する必要があります。

連絡先 Contact

中央農業試験場
農業環境部 環境保全グループ
0123-89-2001
central-agri@hro.or.jp